

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

生成 AI

最近の新聞記事から

「生成 AI を利用・検討、9割超 100社アンケート 社内業務効率化・商品発注助言・顧客対応チャット」

(朝日新聞 2023年7月26日)朝刊 7面

「著作権保護策 検討を」 生成 AI 法改正必要性 見極め 新聞協会など声明」

(読売新聞 2023年8月18日)朝刊 1面

生成 AI とは、「あらかじめ学習したデータをもとに、画像・文章・音楽・デザインなどを新たに作成する人工知能 (AI) の総称」(出典「[コトバンク](#)」)です。昨年11月に公開され、急速に普及している対話型 AI「ChatGPT」もそのうちの一つで、質問文や、作成したい文章の条件を入力することによって、瞬時に人間が作ったかのような文章を作成することができます。これらの生成 AI の活用によって、業務の効率化が期待できる一方、情報の信頼性、個人情報保護や著作権の帰属問題など様々な課題もあります。

生成 AI の使い方や活用事例、使用する際の注意点や課題などを知ることのできる資料を紹介します。

【生成 AI の概要・使い方、仕事への活用方法】

書名・記事名・サイト名	出版情報・サイト情報等
特集 これさえ読めばすべてわかる ChatGPT 完全攻略	『週刊ダイヤモンド』(通巻 4970号 2023.6) p24-71 西部 雑誌
AI に関する用語解説や ChatGPT の活用方法を紹介している。「ライバルに差をつける AI 活用術」では、ChatGPT の使い方を初級編、中級編、上級編に分けて解説。アカウント作成から操作法、他のソフトと組み合わせる業務を効率化する方法までレベル別に幅広く説明されている。また、企業の生成 AI 導入事例や、活用する際の注意点についても言及している。	
特集 イラスト入りの文書を自在に作成 画像生成 AI を使いこなそう	『日経パソコン』(第 915号 2023.6) p30-41 西部 雑誌
主な画像生成 AI サービスについて、使い方や活用の仕方を説明し、商用利用できるサービスも紹介している。用途やレベルごとに、実際の操作画面も交えて分かりやすく解説している。	
ここまで来た!人工知能の最前線 「ChatGPT」 から法律問題まで最新 AI 事情を余さず解説	I0 編集部編集 工学社 2023 中央: 00713/123 図書
現在の AI 事情、自動生成の仕組みや、AI による生成と著作権法との関係などを解説している。また、様々な種類の AI サービスについて紹介し、ChatGPT を使用して実際に行った質問、回答も掲載されている。	
中小企業のための「生成 AI」活用入門ガイド	東京商工会議所 https://www.tokyo-cci.or.jp/chusho/tcci_generateai_guide_for_smes_ver01.pdf Web 情報
中小企業が生成 AI を活用するために必要な知識や使用方法、個人情報や著作権の扱いなどの注意事項について解説している。具体的な経営・業務を想定し用途別にまとめられた入力内容(プロンプト)の例や、中小企業での活用事例も紹介している。	

<p>よく分かる情報化解説(第 99 回) 地方公共団体は生成 AI とどう向き合うべきか</p>	<p>廣川聡美『J-LIS = ジェイリス』 (通巻 628 号 2023. 7)p28-31 中央</p> <p style="text-align: right;">雑誌</p>
<p>地方公共団体向けに、生成 AI の定義を説明し、使い方や使用する際の留意点が述べられている。生成 AI が出したレスポンスの正確性を確認する方法も具体的に解説している。</p>	
<p>生成 AI の利用ガイドライン</p>	<p>一般社団法人日本ディープラーニング協会 https://www.jdla.org/document/#ai-guideline</p> <p style="text-align: right;">Web 情報</p>
<p>生成 AI の導入を考える組織向けに作成された利用ガイドラインのひな形。【条項のみ】と【簡易解説付】がある。前掲『J-LIS = ジェイリス』(第 628 号 2023. 7)p22-26 には「組織が生成 AI を活用する際の留意点：生成 AI 利用ガイドラインの解説」が掲載され、策定の背景、概要や利用時の注意事項などが述べられている。</p>	

【生成 AI と著作権】

<p>AI と著作権</p>	<p>文化庁著作権課『NBL』(第 1246 号 2023. 7)p52-63 西部</p> <p style="text-align: right;">雑誌</p>
<p>令和 5 年 6 月に開かれた、著作権法の考え方や AI と著作権の関係をテーマとしたセミナーの講演録。第 1 部「著作権制度の概要」では、AI と著作権の関係を理解する上で必要な著作権制度について、第 2 部「AI と著作権」では、生成 AI と著作権の関係について解説している。「令和 5 年度著作権セミナー「AI と著作権」の講演映像及び講演資料を公開しました。」(文化庁著作権課 https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/93903601.html)で講義映像と資料を見ることができる。</p>	
<p>画像生成 AI をめぐる著作権法上の論点 (特集 著作権をめぐる近時の法律問題)</p>	<p>柿沼太一『法律のひろば』(第 76 巻第 2 号 2023. 2) p19-30 中央</p> <p style="text-align: right;">雑誌</p>
<p>「画像生成 AI により自動生成された画像に著作権が発生するか」、「画像生成 AI を利用した AI 生成物の生成・利用行為が他者の著作権を侵害しないか」の 2 つを論点とし、具体的にどのような場面で著作権が発生し、誰が著作権を有するのか、著作権侵害の有無など、パターン分けして見解が述べられている。</p>	

【生成 AI と教育】

<p>初等中等教育段階における生成 AI の利用 に関する暫定的なガイドライン (令和 5 年 7 月 4 日)</p>	<p>文部科学省初等中等教育局 https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf</p> <p style="text-align: right;">Web 情報</p>
<p>学校関係者向けに、生成 AI 活用の適否の判断材料として暫定的に取りまとめられたもの。生成 AI の概要、教育利用の方向性、留意点などについて記載されている。</p>	
<p>生成 AI の教育利用に関する研究 —生成 AI の機能比較と教員の生成 AI 利用 意向調査を通して—</p>	<p>藤村裕一『日本教育工学会研究報告集』(2023 巻 2 号 2023. 7) p75-82 https://doi.org/10.15077/jsetstudy.2023.2_75</p> <p style="text-align: right;">Web 情報</p>
<p>生成 AI の機能比較、現職教員・教員養成系大学院生の生成 AI の利用意向調査を通し、利用意向、教育利用の可能性と留意点、求められる教育内容などについて述べられている。教職員、児童生徒が生成 AI を利用した場合の出力例も示している。また、同号には、武田俊之「大学は生成系 AI の影響をいかに認識しているか？」p88-94、橋本智也「生成 AI を活用した初年次教育の授業設計と実践」p95-100 も掲載されている。</p>	

(インターネットの最終確認日：2023 年 10 月 6 日)

作成：千葉県立中央図書館